



くまもと農業経営塾

平成から令和へ、新たな時代のトップリーダーとなれ！！

令和元年度（2019年度）塾生を募集します！

全国トップの多彩な講師陣が 皆さんの農業ビジネスを強力にサポート！

塾に参加することによって・・・

- 1 経営者（社長）の心構えが身につきます
- 2 将来の夢実現のための計画ができます
- 3 同じ目的や課題を持つ仲間ができます



くまもと農業経営塾とは？

- ◆熊本県の農業トップリーダーを育成するゼミ講座です。
- ◆県内の意欲ある若手農業者等を対象に、第一線で活躍する実務家、学識経験者を講師に招き、経営理念、リーダーシップ、マーケティング、マネジメント、競争戦略に関する講義、将来の事業計画を作成します。
- ◆H22年度からH30年度までの受講者209名

「経営マインド」
「社長の心得」
が身につきます

令和元年度（2019年度）の塾講座の特徴

- ◆ゼミ講座 開催場所：農業大学校研修交流館ほか県内施設
開催回数 本講座10回
農業経営の現場視察等の宿泊研修（1泊2日）を含みます。
全国トップレベルの講師による経営戦略等の講義があります。
- ◆事業計画作成・相談会
個別事業計画の作成を支援します。
※事業計画・・・将来の夢実現のための計画

開講式及び第1回講座は8月1日または2日に予定しています



一生の仲間やトップクラスの講師と共に将来の自分自身の事業計画を作り上げましょう。

**応募をお待ち
しています！**

募集の概要

募集人員	20名
募集期間	5月21日(火)～6月21日(金)必着
応募方法	所定の申込書に記入し、郵送又はE-mailで提出
応募先	熊本県立農業大学校 研修部 〒861-1113 合志市栄3805 電話：096-248-6600 nougyoudaigaku28@pref.kumamoto.lg.jp

応募資格	①県内在住で、おおむね5年以上の農業経験年数 ②既に農業技術を取得し、農業経営を自ら実践できるフィールドを持っており、経営改善の意欲ある若手農業者 ③全てのゼミ講座の受講が可能 ④インターネット環境が整い、E-mailによる連絡およびパソコン操作ができる
受講料	無料（一部実費負担あり）

※詳しくは熊本県ホームページをご覧ください。

◆お問い合わせ先

熊本県立農業大学校 研修部

TEL096-248-6600（直通）

熊本 農大

検索

①ゼミ講座（10回）主な内容

第1回	開講式・塾長講話 / 東海大学 今川和彦 教授 経営者のあり方 / 木之内農園 木之内均 氏	《熊本テルサ》
第2回	自己把握と目標設定 / 平田観光農園 平田真一 氏 現状把握と目標設定ワーク / TA 山下弘幸 氏	《農業大学校》
第3・4回	(1泊2日宿泊研修) 事業理念1 / 松下政経塾視察(神奈川県) 特別補講: 事業理念と経営計画 / TA 松本謙 氏 事業理念2 / 先進事例視察 / 井手トマト農園(神奈川県) 事業理念3 / 先進事例視察 / みやじ豚(神奈川県)	《関東方面》
第5回	競争戦略ワーク / TA 山下弘幸 氏 競争戦略 / こと京都 山田敏之 氏	《農業大学校》
第6回	業務効率化戦略 / 鍋八農産 八木輝治 氏 業務効率化ワーク / TA 松本謙 氏 TA 山下弘幸 氏 中間発表 / 今川和彦塾長 TA 松本謙 氏 TA 山下弘幸 氏	《水前寺共済会館》
第7回	人材育成と組織づくり / セブンフーズ 前田佳良子 氏 雇用型経営における職場環境改善のポイント / 三豊セゾン 矢野匡則 氏 人材育成ワーク / TA 松本謙 氏 TA 山下弘幸 氏	《農業大学校》
第8回	販売戦略と情報発信 / 平田観光農園 平田真一 氏 先輩経営者に学ぶ海外戦略、販売戦略 / オキス 岡本孝志 氏 販売戦略ワーク / TA 松本謙 氏 TA 山下弘幸 氏	《県南広域本部》
第9回	地域商社の可能性・事業多角化 / ファーマーズフォレスト 松本謙 氏 業務多角化ワーク / TA 松本謙 氏 TA 山下弘幸 氏 事業計画作成演習 / TA 松本謙 氏 TA 山下弘幸 氏	《水前寺共済会館》
第10回	事業計画発表会 / TA 松本謙 氏 TA 山下弘幸 氏 終了式 / 東海大学 今川和彦教授	《熊本テルサ》

公開講座1

公開講座2

②事業計画作成支援相談会

3回実施 場 所 : 農業大学校他
相談員 : ティーチングアシスタント 松本謙 氏
ティーチングアシスタント 山下弘幸 氏



受講生の声



- 事業計画を作っていくなかで、いろいろな方々からアドバイスをいただき、本当の自分の会社の問題点に気づくことができた。
- ちゃんと自分の伝えたいことを言葉で説明する経験をし、ものすごくプラスになった。
- 半年間、自分としっかり向き合った。この経験は自分の人生を変えるくらい大きい勉強になった。
- なんでも相談できる一生涯の仲間ができた。

ゼミ講座



事業計画作成支援相談会



令和元年度(2019年度)くまもと農業経営塾開催要領

1 目的

熊本県農業の未来を担う意欲ある若手農業者が、自らの農業経営に応用できる高度な知識・経営技術を習得すると共に、経営や自己革新に挑み、目標必達を精神を培うことで、本県農業のトップリーダーを志す農業経営者として育成する。

2 主 催 熊本県

3 実施内容

(1) 開講期間

令和元年(2019年)8月から令和2年(2020年)3月まで

(2) 実施形式

- ①ゼミ講座(10回、6時間/回、うち2回は1泊2日研修により実施)
- ②事業計画作成支援相談会(3回)
- ③事前学習(書籍購読、オンライン学習、E-mail等による指導)

(3) 講義の内容

- a. 塾長講話(東海大学 今川教授)
- b. 経営者のあり方(覚悟、視点、なすべきこと等)
- c. 事業目的と経営理念(目標設定を含む)
- d. 人材育成と組織づくり、リーダーシップ
- e. 事業戦略(選ばれる理由の創出等、競争戦略立案に重点)
- f. 生産原価など経営数値の把握と活用
- g. 農業経営者の販売戦略と具体的手法(顧客マーケティング含む)
- h. 新たな事業展開(直売等農業生産以外の事業領域、海外展開等)
- i. 事業計画の発表(最終回に実施。必要に応じ中間発表も行う)

4 受講対象者

(1) 応募者の資格

以下の要件を全て満たす者

- ①県内在住で、おおむね5年以上の農業経験年数を有する者
- ②既に農業技術を習得し、自営農業又は法人組織の経営権を持つ者又は近年中に経営権の委譲を受ける予定の者(自ら実践できるフィールドを持っている)
- ③農業経営を改革したいという意欲を持っている若手農業者
- ④全てのゼミ講座を受講できる者
- ⑤インターネット環境が整い、E-mailによる連絡及びパソコン操作ができる者

(2) 受講人数

20名

5 受講生の募集および選考方法

別添令和元年度（2019年度）くまもと農業経営塾受講生募集要項で定める。

6 その他

講座の受講料は、無料とする。但し、一部実費負担あり。

令和元年度（２０１９年度）くまもと農業経営塾受講者募集要項

1 目的

本要項は、くまもと農業経営塾の受講者の募集方法等について定める。

2 受講者の募集及び応募方法

(1) 応募者の資格

以下の要件を全て満たすこと。

- ① 県内在住で、おおむね５年以上の農業経験年数を有すること。
- ② 既に農業技術を習得し、自営農業又は法人組織の経営権を持つ者又は近年中に経営権の委譲を受ける予定の者であること。（自ら実践できるフィールドを持っていること）
- ③ 農業経営を改革したいという意欲を持っている若手農業者であること。
- ④ 全てのゼミ講座を受講できる者であること。
- ⑤ インターネット環境が整い、E-mailによる連絡及びパソコン操作ができる者であること。

(2) 募集人数

20名

(3) 募集期間及び応募方法

- ① 募集期間 令和元年（２０１９年）５月２１日（火）～
令和元年（２０１９年）６月２１日（金） 必着

- ② 応募方法

別添「令和元年度（２０１９年度）くまもと農業経営塾受講申込書（別紙１～２）」に必要事項を記載の上、写真（正面・上半身・脱帽で、６か月以内に撮影したもの）を添付し、紙又はE-mailで申し込むものとする。

- ③ 受講申込書提出先

熊本県立農業大学校 研修部

〒861-1113 熊本県合志市栄3805 電話：096-248-6600

E-mail：nougyoudaigaku28@pref.kumamoto.lg.jp

3 受講者の選考方法及び決定

(1) 選考方法及び日程

第１次選考（書類審査）及び第２次選考（面接審査）の結果を基に、選考委員会で受講者を決定する。

- ① 第１次選考（書類審査） 令和元年（２０１９年）６月２６日（水）

応募者から提出された受講申込書について、選考審査を行う。

- ② 第２次選考（面接審査） 令和元年（２０１９年）７月２日（火）

面接審査の日時、詳細については、対象者に直接連絡する。

(2) 受講者の決定

受講者については、選考委員会で審査のうえ受講の可否を決定し、受講申込みのあった全ての者に対し、７月１０日（水）までにその結果を通知する。

(様式1)

整理 No. _____

令和元年度（2019年度）くまもと農業経営塾受講申込書

記入日	令和 年 月 日				
フリガナ		生年月日	昭・平 年 月 日 (満 歳)	性別	男・女
氏名					
フリガナ	〒				
現住所					
電話番号	携帯電話				
E-mail					
履歴（学歴・職歴等）					
期 間	最終学歴・職歴			所属団体・役職等	
～ ～	卒				
就農してからの農業経験年数 年					
＜あなたが属する経営体の農業経営状況＞ （※下線部分に記入及び該当番号に○印を記入）					
1：農業従事状況等					
経営形態：①法人経営 ②家族経営（家族のみ・雇用あり）③独立経営（雇用あり・なし）					
※法人経営の場合：会社名 _____ 役職名 _____					
経営体の農業専従者数（※常雇用を含む）：男 _____ 人 女 _____ 人					
※常雇用とは、期間の定めなく雇われている者					
経営体の雇用者数：常雇用 _____ 人 臨時 _____ 人／年（実数）					
経営権：① 経営権を持っている ② 近年中に委譲を受ける予定					
③ 経営全体ではないが、一部、経営を任されている部門がある。					
経営の主たる役割：_____（例）畜産部門、水稻受託作業等					
2：主要作物等の作付面積等					
(1) 主要作物					
① _____ : _____ ha ② _____ : _____ ha					
③ _____ : _____ ha					
(2) 家 畜 _____ : _____ 頭・羽 _____ : _____ 頭・羽					
(3) 主要施設 ハウス : _____ a					
(4) 作業受託					
① 作業名 _____ 受託規模 _____ ha					
② 作業名 _____ 受託規模 _____ ha					
(5) 直近の売上高 _____ 千円 (H 年) 売上上位部門 1 位 _____ 2 位 _____					

(様式 2)

氏名

整理No. _____

令和元年度（2019年度）くまもと農業経営塾受講申込書

レポート（1000字程度）

◆ 農業経営の改善のためにこれまで取り組んできたこと

◆ 農業経営上の課題

◆ 今後の方向性（3年後5年後の経営の展望について具体的に記入してください。）

◆ くまもと農業経営塾で学びたいこと

◆ 今後の地域農業の発展に向けた提案